

起句	0 1	ぼうふらの森繁節の乙な振り	亜湖
	0 2	底紅のぞく古家の大甕	和子
	0 3	秋出水こもかしこも異例にて	七緒
	0 4	流れ着いたはいずこの案山子	恆雄
月	0 5	目に映る山の上なる月の暈	笈羅
折端	0 6	谷に飴す盆踊りの声	松陽
折立	0 7	祝日をまとめる風潮割を食う	和
恋	0 8	授業日だからデートは除日（じょじつ）に	七
	0 9	初菫叶わぬ恋を託す朝	恆
	1 0	験を担いで獅子に頭を	笈
	1 1	海外でサムライ軍団鰐退治	松
	1 2	試合のあとの始末も好評	和
月	1 3	網戸越し満月メロンパンとなる	七
	1 4	蚊に取られまい甘い果物	恆
	1 5	団扇まで総動員の忙しさ	笈
	1 6	バイクを飛ばす年寄り僧侶	松
花	1 7	「祇園山四代やなあ」花枝垂れ	亜湖
折端	1 8	こいちゃんぎょうさん石鹼玉吹く	七
折立	1 9	大蛙膨らみすぎて夢が爆ぜ	恆
	2 0	伸びた独活などとても噛めねえ	笈
	2 1	足の指でグーチョキパーよ畦青む	松
	2 2	壊れつつある地球を知るや	亜
	2 3	我儘な統治者跋扈し神の警鐘	和
	2 4	慈悲心鳥も鳴りをを密めつ	恆
	2 5	金雀児（えにしだ）はイニエスタから来たという	七
恋	2 6	神戸に帰省再会嬉し	笈
	2 7	一押しは明石の章魚とあなご飯	亜
	2 8	父の土産は鈴虫の籠	松
月	2 9	月かなし列島縦横台風禍	和
折端	3 0	コスモス辿り縄文の小屋	亜
折立	3 1	黄落しきりフランボワイアンの城	恆
	3 2	貞操帯が外せぬ皇妃	七
	3 3	四つ葉摘む詰め草という名の草の	笈
	3 4	春帽子置き乳しぼる娘（こ）等	亜
花	3 5	漣に天城風（おろし）の花が舞う	松
	3 6	白砂蹴立てて若駒走る	和